

広報

ニセコ

昭和46年1月1日発行

No. 114

ニセコ町役場総務課

賀正



国際的な大規模スキー場開発の可能性を秘めたニセコ連峰……。

今年は、いよいよ道において調査がなされスキーのメッカとして名実ともに飛躍するのも遠くはない。

昭和46年

1

月号

新春の抱負を語る



ニセコ町長 遠藤 京作

町民の皆さん、新年おめでとございます。
意義深い新春を健康で迎えられましたことをおよろこび申し上げます。

関の適切なご指導により、田、畑共に予想以上の収穫を収め、待望のビート一万吨生産に合せて昨年十一月に盛大なる農業まつりができましたことは喜びにたすべてこの基本計画の中か

ら打ち出されてくることになり。私も、昨秋十一月三日から町政を担当いたしておりますが、国、道の基本線に沿って産業振興に観光開発に、また、昨年十月に行なわれました国勢調査の結果、今年から過疎地域に指定されることになつた過疎対策に大いにかんばらなければならぬ年です。町民各位の特段なるご支援とご協力をお願いいたします。

ニセコ町議会議員 佐藤 初一



昨年、米の生産調整問題、台風や集中豪雨などによる農家所得の減少、任期満了に伴う町長選挙など、多事多難の年であつたと存じます。

いる等はそれであり。ニセコ町も、過疎町村であります。私は、今年こそ、これらの問題の現況を検討し、国や道の施策に即しつつ本町の将来の方向を定め、皆さんのご期待にお答えしなければならぬと思つております。

その結果が米の生産調整二七六ヘクタールという大巾な休耕面積となつたことと思ひます。
しかし、天候は比較的順調に推移し、農家の皆さんのたゆまざる努力と関係機

町民の皆さん、明けましておめでとございます。
ここに希望の新春を迎えるに当り、皆さんのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

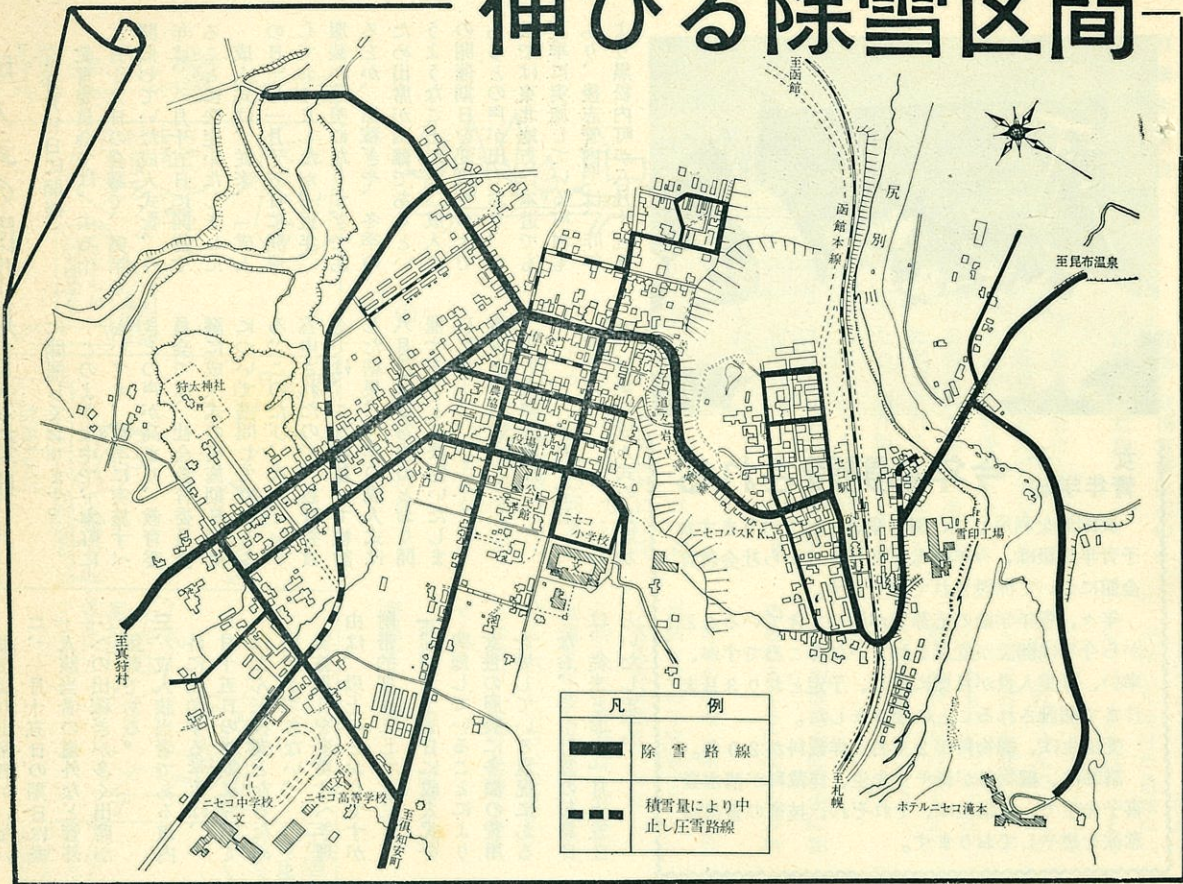
た。例えば、都市およびその周辺地域において産業の集中人口の過密化の問題があり、反面、農村においては過疎の問題が大きくなつて

今年が、皆さんにとつて幸多く健康に恵まれたよい年であることを祈念して年頭のごあいさついたします。

謹んで新年のお喜びを申し上げます

ニセコ町役場	町長 遠藤 京作	副町長 青山 正一	助役 森 恵	収入役 菊地 哲夫	総務課長 春日井 亨	住民課長 福井 正男	施設課長 飯原 富	産業課長 外職員一同													
ニセコ町議会	議長 佐藤 初一	副議長 瀬戸 常重	議員 芳賀 政一	議員 松原 章	議員 神林 一郎	議員 山森 初男	議員 今井 重春	議員 小林 基春	議員 青山 春雄	議員 榎原 伊織	議員 高木 嘉雄	議員 田中市太郎	議員 大橋定太郎	議員 (喪中欠礼) 石山市太郎	議員 酒井 武雄	議員 安岡 寅蔵	議員 大越 三郎	議員 日野浦敏雄	議員 千葉祐一郎	議員 川島 与作	
ニセコ町教育委員会	委員長 佐藤 敏之	委員 (喪中欠礼)																			
ニセコ町農業委員会	委員長 野村 武雄	会長代理 山田徳治郎	委員 佐竹 貞雄	委員 小田切貞三	委員 酒井 武雄	委員 加賀 茂	委員 大場 勇	委員 熊谷 寅雄	委員 小川 春美	委員 西村 正之	委員 大沢 政市	委員 堀 茂	委員 工藤東次郎	委員 瀬戸 常重	委員 日置 義雄	委員 外職員一同					
ニセコ町監査委員	委員 原 敬三	委員 今井 重春																			
ニセコ町選挙管理委員会	委員長 工藤 賢司	委員 大栗 岩夫	委員 高田 一郎	委員 牧野 環																	
ニセコ町福祉委員会	委員 渡辺 富一	委員 大徳 一幸	委員 服部 静江	委員 榎原 繁子	委員 亀田ヒロノ	委員 大野 清磨	委員 佐々木正俊	委員 三橋二三枝	委員 大栗 岩夫	委員 辻 栄一	委員 牧野 環	委員 吉原忠次郎	委員 青山 進								

伸びる除雪区間



冬季交通の確保に万全体制

ことしはまた、昨年同様の大雪になりそうですが、このような自然条件の中で、より快適な冬の生活を過ごすために、町では、除雪確保に万全の体制をとっています。

- ◎ 駐車は絶対にならないこと
- ◎ 道路上に通行や除雪の障害となるような物件を置かないこと。
- ◎ 道路上にはつとめて駐車をしないようにすること。
- ◎ 道路上において通行の障害となる荷さばきや作業をしないこと。
- ◎ 除排雪をした道路には雪を捨てないこと。
- ◎ 除排雪後の路上への雪の押し出しまは投げ出し、屋根の雪等の路上への放出。



◎ 除排雪作業の障害となる路上

あけましておめでとうございます

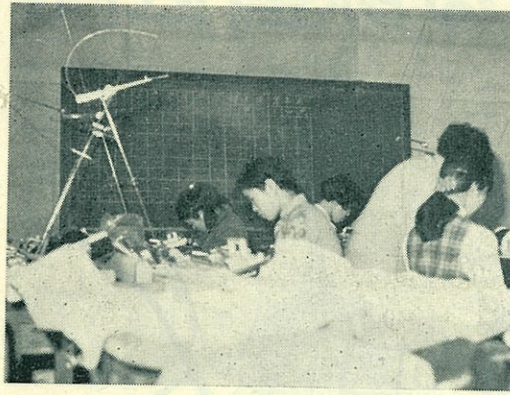
ニセコ町固定資産評価審査委員会	委員長 腹内善太郎	委員 青山 進	委員 桐山 勝男										
ニセコ町社会教育委員	委員長 今井 勝彦	委員 成瀬 きよ	委員 本間 岩男	委員 洞口 松雄	委員 岡田 増吉	委員 高橋 良一	委員 古館 行夫	委員 稲林 キン	委員 木島 勲				
ニセコ町社会福祉委員	委員 渡辺 富一	委員 大徳 一幸	委員 服部 静江	委員 榎原 繁子	委員 亀田ヒロノ	委員 大野 清磨	委員 佐々木正俊	委員 三橋二三枝	委員 大栗 岩夫	委員 辻 栄一	委員 牧野 環	委員 吉原忠次郎	委員 青山 進

成人式の開催期日を変更

8月15日に開催
 教育委員会では、去る十月十九日の会議で、例年開催していた成人式を、今年八月十五日に開催することに決定いたしました。成人式は、従来、「成人の日」の一月十五日に開催しておりましたが、近年、服装が華美になりすぎであるとか、出稼ぎや、冬季のため出席が困難であるというようなことから、成人式の開催期日を変更すべきであるとの声が出ており、全国では東北地方、本道でも夏季に実施している町村もあり、後志管内では、昨年より黒松内町が八月十五日に開催しております。

このような中で、本町においても、夏季に実施すべきとの声が高まり、教育委員会では、社会教育委員会議に成人式の実施期日変更について諮問していたところ、このたび、次のとおり答申されたので、教育委員会では、これに基づいて検討した結果、今年の成人式は八月十五日答申のとおり開催することに決定いたしました。

◆答申の内容
 成人式開催期日
 八月十五日
 (理由)
 一、従来の成人式の出席状況は成人該当者の五〇%前後より出席者がいない二、一月十五日の期日は成人該当者の道外など管外への出稼ぎが多く出席が困難である。
 三、成人該当者である道内外に在学する学生は、一月十五日の時期においてほとんど授業となるため出席ができない。
 実施期日を変更すべき理由は、以上のとおりですが附帯的要素として
 一、一月十五日に成人式を実施していることにより女性の服装に多額の費用を要している現況にある
 なお、年令計算の起算日は、従来どおり一月十五日といたします。



女子青年学級 今年も開設される

農閑期を利用して、例年開設されております女子青年学級は、今年度も12月1日から社会教育会館において開設されております。

年々、青年学級の応募者が減ってきていることから今年も開設が危ぶまれていたところですが、幸い、募集人員が目標に達し、予定どおり3月末日まで開設されることになりました。

受講生は、編物科が21名、洋裁科が20名。講師は、編物科が森キミ先生、洋裁科が清水登喜子先生で、受講生は、それぞれ、技術の習得に意欲を燃やしております。

善意ありがとうございます

みなさん、お正月を町社会福祉協議会では、町民がそろって明るくお正月を迎えることができるよう、生活困窮者や長期療養者のために「歳末たすけあい運動」を実施したところ、婦人団体連絡協議会による各戸募金など大ぜいの皆さま方のご理解とご協力をいただき、次のおお正月の義援金品が寄せられました。ご協力いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。

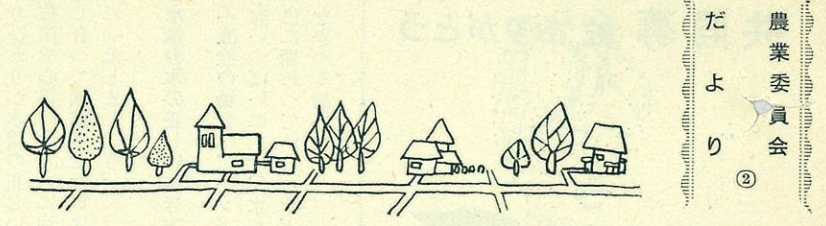
あじさい会	一、二〇〇円
アサヒビール会	二、三〇〇円
ニセコ町議会議員一同	一〇、〇〇〇円
役場幹部職員一同	一七、〇〇〇円
ニセコランドホテル	一、〇〇〇円
佐藤 敏之	一、〇〇〇円

本通一 婦人会	三、〇二〇円
本通二	二、二〇〇円
本通三	一、九六〇円
本通四	四、八七〇円
本通五	三、一〇〇円
本通六	二、八〇〇円
本通七	二、五二〇円
本通八	一、七五〇円
本通九	三、一七五円
本通十	二、二〇〇円
本通十一	一、四〇〇円
富士見	二、〇八〇円
有島団地	一、九七〇円
中央一	一、三七〇円
中央二	三、三五〇円
中央三	二、五〇〇円
中央四	一、八七〇円
中央五	一、八七〇円
中央六	八四〇円
中央七	一、四五〇円
新興	二、九七〇円
宮田	三、〇〇〇円
有島駐在区	二、九七〇円
有島三	一、〇〇〇円
有島四	一、〇〇〇円
有島五	五〇〇円
羊蹄一	九〇〇円
羊蹄二	八〇〇円
滝台	八〇〇円
温泉	一、五二〇円
王子	二、五〇〇円
計	一〇四、〇八五円
青年学級生一同	もち米 七俵
匿名	もち米 九〇俵

(昭和45年12月25日現在)

あけましておめでとう ごさいます
ニセコ町消防団 団長 葦内善太郎 副団長 沢野善四郎 外団員一同
ニセコ町国民健康保険 運営協議会 委員長 榎原 伊織 委員 青山 春雄 松本 忠 河合 秀雄 馬場 竹男 野村 武雄
ニセコ町学校給食 センター運営委員会 会長 古館 行夫 副会長 青山 春雄 理事 新田清太郎 船木 一夫 大木 勉 菊地 昌子 豊本 網市 北村 朝光 高木 嘉雄 松田 武義 森崎 義美 岡田 勝見 河合 和夫 高木 秀雄 外職員一同

道先一家 工藤恒美



農業委員会 だより

③ 農地の取得資格はどのようになつたか
 農地法によつて、国から売渡しを受けた農地については、従来はいつまでもたつても貸し付けることは許されませんでした。その売渡しを受けて十年たつたものについては、他人に貸し付けてもよいことになりました。

④ 資産的所有を目的とする取得や投機的所有を目的とする取得を禁止し、取得された農地が効率的に利用されるようにするため、通作距離などからみて適当でない認めらるるような農地の取得は許可されないことになりました。

⑤ 小作地については、従来その小作農以外には売れないこととなつていました。小作農の同意があれば第三者が買うことができる等の例外を認めることになりました。

⑥ 農地改革やその後この

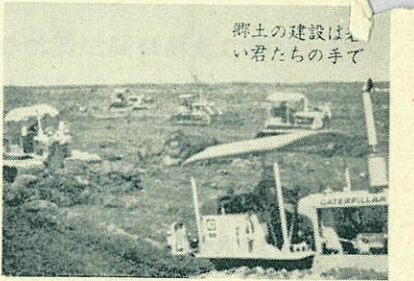
従来は、農地一筆ごとに最高額を定めて統制するといふ考え方は廃止されました。しかし、小作料は、定額の金額を定めなければなりませんし、じつさいの支払いも金額でなければなりません。

農業委員会は、関係者の意見を十分聞いて、田畑別

上、中、下別などの必要な農地の区分をして、小作料の標準額をきめ、これより著しく高い小作料がある場合には、その小作料を安くするよう勧告することができるとなつています。

このことは、小作料の額をむやみにせりあげることがを防ぐためです。このためあらたに小作契約をしたり従来に小作契約を結ぶときは、小作契約の期間や小作料の額などを農業委員会に通知しなければならぬことになつています。

次号は引続き小作料についてのべてみます。



北海道地方産業開発 青年隊を募集

※目的
 共同生活を通じて、専門的な実技と学科を学び、将来建設工事施工技術者としての実力を修得する

※応募資格
 (1) 昭和四十六年四月一日現在で年令満十八才以上二十五才未満の道内に居住する独身男子。
 (2) 中学校卒業またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者。ただし大型自動車および大型特殊自動車運転免許取得者を除く。

※願書受付期間
 昭和四十五年十二月一日から昭和四十六年二月末日まで。

なお、くわしいことは、役場産業課におたずねください。

冬休み中の生活指導は計画的に

- 健康の増進体力づくりにつとめよう
- 親子の対話を多くし、愛情を深めよう
- 創作や読書など個性をのびす学習を
- こどもの計画を理解し、事故や非行を未然に防ごう



水道の凍結にご注意

寒さがきびしくなると、必ずと言ってよいほど凍結による水道の故障がおきています。

水道の凍結は、水道の水抜きを完全に行なうことによつて防ぐことができます。家族のみなさん、ひとりひとりが水道の正しい水抜き法を心得、お互いに注意し合つて凍結させないようにならなければなりません。

※水道の水の正しい抜き方

不凍栓の場合は、ハンドルをいっぱいあげ、水が白色に変わつてからハンドルをきつく締めます。

ハンドルを十分にあげず、チヨロチヨロ出しの状態にして締めても水は不凍栓の下部まで落ちず凍結してしまいます。

水抜きの場合は、ジャロのハンドルをいっぱいあげたまま水抜きハンドルのきつく締めます。これも不凍栓と同様ハンドルを十分にあげなかつたり締めなかつたりすると水が地下へ抜けていかず凍結の原因となります。

※もし凍結したら……

もし凍結してしまつたときは、ハンドルの上から床

板の間にタオルかぞうきんを巻きつけ、その上におゆをかきますと軽い凍結なら水が出るようになります。凍結したり、故障したときは、できるだけ早いうちに役場施設課水道係にご連絡ください。



十一月 一日から十二月二十二日まで

▼ご結婚おめでとう

和佐田和雄 佐古岡みどり (東 山)

高橋 富雄 矢野 文子 (共 栄)

安芸 久雄 田中 和子 (中央 四)
佐竹 浩 小松平梅子 (北 栄)
菅原富士男 関口 靖子 (羊蹄 一)

▼お誕生おめでとう

今野 裕子 富亀男 (西 富)
竹内 教雄 清 (藤 山)

坂本 祐紀 和雄 (有島団地)

磯部 正幸 進 (本通 八)

千葉 晃子 徳松 (富士見)

岩瀬 匡博 一郎 (本通 四)

共同募金ありがとう



昨年、10月1日から実施いたしました「共同募金運動」につきましては、より多くの皆さま方のご協力をいただき、下記のとおり目標額を越える金額が集まりました。深くお礼申し上げます。

ご協力いただきました募金は、町内の生活困窮者や福祉活動のため、および、道内の社会福祉施設に対する配分など、皆さまの善意にそむかぬよう、だれもがしあわせな明るい社会づくりのために使用させていただくことになっておりますので、今後とも一層のご支援とご協力をお願いいたします。

戸別募金	134.090 円
大口募金	60.500 円
合計	194.590 円

(昭和45年12月25日現在)

役場の執務時間が変わりました

昭和45年12月1日から、昭和46年3月31日までの間役場の執務時間を次のとおり変更いたします
午前9時から 午後5時まで
(ただし、土曜日は正午までとする)
したがつて、有線放送電話の公社線接続時間も、午前9時からと変更になります。

一口医学

しもやけの予防



冬に多い病気のひとつにしもやけがあります。しもやけはなりやすい年齢があつて一番多いのが学童期そして思春期で、三十才を過ぎると次第に減少するのが普通です。しもやけのできやすい人は次のことに心がけましょう。

手や足を毎日マッサージュすること。手足をぬらした後は、乾いた手ぬぐいで十分に除いてあたためること。ただし、ゴムヤヒモをきつくして血のめぐりを悪くしないように注意すること。
食べ物は、バター、牛乳、レバー、にんじんなどビタミンAを多く含むものや、ビタミンCの多いものがよく、そのほかビタミンK(胚芽、緑の野菜に含まれる)も血液の循環をよくします。